

第3次千葉県青少年総合プラン 平成30年度事業評価シート

事業NO	31
------	----

事業名	次世代ボランティア人材育成事業		
担当課・室・班名	県民生活・文化課	問合せ先(電話番号)	4133

1 事業の概要

柱	I	基本目標	2	基本方策	③子ども・若者の社会参加の促進					
事業内容	地域コミュニティを構成する様々な主体が、連携・協働しながら、地域を担う次世代ボランティア人材を、効果的かつ持続的に育成するため、市民活動団体などからの企画提案を募集し、採択を受けた団体が事業を実施する。									
当初予算額(千円)	H30年度	1,081	R元年度	1,064	R2年度		R3年度		R4年度	
決算額(千円)		490								
財源内訳	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源
	○		○							

2 事業実績・評価等

(1)事業の実施結果

(特非)生涯学習応援団ちば 「2020ちばおもてなし隊チャレンジステージⅡ～2018から2020へ～」 (イベント4回実施、高校生50名、大学生33名、その他26名参加、パンフレット及びマップ作成)

(2)事業の成果

アイデアをどのようにすれば実行できるかを自らで考え行動し、実行することの難しさや実行できた時の達成感を感じることで、今後の活動に繋がる成功体験とすることができた。 高校生を中心に幅広い世代が参加したことにより、お互いの発想や意見が参考となり、また、様々な世代の交流を図ることができた。高校生達においては、実際に活動している社会人と接することで、今後の活動を具体的に考える機会となった。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

平成30年度は、受託団体から提示された計画の中で、天候等により実施できない事業があった。このことを踏まえ、今後は、委託業者選定審査会の際、提出された事業計画の実現可能性をより厳密に確認していく。また、事務局として受託団体へ代替事業の実施を求める等フォローアップを行っていく。

○参考

関連指標	[ボランティアへの参加促進] ボランティアとして活動したことがある若者(20代)の割合 <県政に関する世論調査>					目標	増加を目指します
	基準年(H28)	H29	H30	R2	R3	R4	
	40%	35%	30%				

4 委員意見

5 担当課回答

--	--

第3次千葉県青少年総合プラン 平成30年度事業評価シート

事業NO	37-1
------	------

事業名	グローバル人材プロジェクト事業		
担当課・室・班名	教)教育政策課	問合せ先(電話番号)	4176

1 事業の概要

柱	I	基本目標	2	基本方策	③子ども・若者の社会参加の促進					
事業内容	グローバル人材を育成するために、各種事業(講演会・交流会)を実施し、生徒が海外に目を向け自らが成長するきっかけを提供するとともに、本県の次代を担う子どもたちの成長に貢献する。									
当初予算額(千円)	H30年度	2,370	R元年度	2,370	R2年度		R3年度		R4年度	
決算額(千円)	H30年度	788	R元年度		R2年度		R3年度		R4年度	
財源内訳	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源
		国庫		国庫						

2 事業実績・評価等

(1)事業の実施結果

①留学生等との交流会の開催
 留学気運の醸成のため、高校生が海外からの留学生・留学経験者等と留学のきっかけや留学後のビジョン等について意見交換を行う交流会を事業実施校17校で実施した。

②海外理解促進のための講演会の開催
 国際的視野を養い、留学気運の醸成を図りながら、主体的に国際社会に参画していこうとする動機付けとするため、国際社会で経験が豊富な講師による講演等を事業実施校15校において開催した。

③留学フェアの開催
 千葉県の中学生・高校生が、異なる文化を持つ人々との相互理解を深め、世界と交流し世界に貢献する意欲・態度を育て、国際社会で活躍できる人材として成長することを目的として、海外留学の意義や留学するまでの方法等を紹介する「千葉県高校生留学フェア」を1回開催した。

(2)事業の成果

- ・生徒に対し異文化に対する興味・関心を高め、世界との関わりについて主体的に考えさせる機会を与えた。
- ・生徒が国際社会で働くために将来の日本や自分との関わりについて学ぶことで、国際社会に主体的に参画していく意欲と態度を向上させることができた。
- ・生徒の英語によるコミュニケーション能力向上への意欲の向上。
- ・生徒の将来留学等、外国で学びたいという意欲の向上。
- ・事業実施校において国際理解推進のための連携体制を構築した。(地域、近隣高校、近隣大学との連携)

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

・例年、当初予算に対して国の内示額が低く、学校側も少額の限られた予算の範囲での行事を行うことしかできない。
 (参考)

H30		R1	
当初予算	2,370,000円	当初予算	2,370,000円
内定額	1,318,000円	内定額	908,000円
実績額	788,693円		

○参考

関連指標					目標	
	現状(基準年H28)	H30	R1	R2	R3	R4

4 委員意見

5 担当課回答

--	--

第3次千葉県青少年総合プラン 平成30年度事業評価シート

事業NO	37-2
------	------

事業名	グローバル人材プロジェクト事業		
担当課・室・班名	教)学習指導課	問合せ先(電話番号)	4059

1 事業の概要

柱	I	基本目標	2	基本方策	③子ども・若者の社会参加の促進					
事業内容	高等学校を対象に、国際的に活躍できるグローバルリーダーを育成することを目的として、そのための質の高いカリキュラムの開発やその体制整備を推進するとともにその啓発を図る。外国語教育を充実させ、小・中・高等学校を通じた系統性のある英語教育で、コミュニケーション能力等を確実に養い、グローバル化に対応した人材の育成を目指す。									
当初予算額(千円)	H30年度	44,612	R元年度	44,683	R2年度		R3年度		R4年度	
決算額(千円)		28,102								
財源内訳	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源
		国庫		国庫						

2 事業実績・評価等

(1)事業の実施結果

<ul style="list-style-type: none"> ・スーパーグローバルハイスクールで課題研究を中心とする活動を行い、研究発表会、研究開発報告書などにより成果の総括と普及を行った。 ・小学校英語教科化に向け、教員の資質能力の向上を目的とした研修を59会場で実施した。(受講者数1,775名) ・大学と連携した小・中・高の英語担当教員の指導力向上研修を学校種別に実施した。(小131名、中245名、高325名参加) <p>高校生海外留学助成事業により、学校のプログラムで派遣される高校生(1校2プログラム計34名)の費用の一部を助成した。</p>
--

(2)事業の成果

<ul style="list-style-type: none"> ・課題研究と研究結果の発表等を通じて生徒の課題発見・問題解決能力や論理的思考力が向上した。 ・小学校英語教科化に向け、音声から文字指導へつなげる効果的な指導法や実践的な言語活動について、授業を参観及び研究協議を通して指導力の向上を図ることができた。 ・大学の教授や国の中央研修を受講した英語教育推進リーダーを講師に、4技能を総合的に育成するための授業改善を図る研修を実施した。実践的な研修を通して、教員の英語力の向上が図られ、新学習指導要領に対応した英語による効果的な指導方法を学ぶことができた。 ・高校生海外留学への助成をすることで個人の負担を軽減するとともに、学校の留学プログラムの推進を図ることができた。
--

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

<ul style="list-style-type: none"> ・指定期間の最終年度を迎えた2校は、知見の普及と継承を行う。指定4年目の1校は研究開発から成果普及へと軸足を移す。 ・学習指導要領の全面实施に向け、教員の指導力及び英語力向上を目的とした研修を継続的に実施するとともに、小・中・高等学校の連携を図る必要がある。 ・中・高等学校の英語科教員の英語力強化を図るためための研修を実施するとともに、外部検定試験の資格取得をめざし、受験料補助の支援を行う。 ・留学フェア等を開催することで海外で学んだり、主体的に国際社会に参画しようとする動機付けを高めたり、留学支援金の拡充を図る。

○参考

関連指標	目標					
	現状(基準年H28)	H30	R1	R2	R3	R4

4 委員意見

5 担当課回答

--	--